あさおの町会・自治会 Vol.16

百合ヶ丘みずき街自治会

会長　石見　昌彦

百合ヶ丘第二団地の入居が1961年に始まり、当時は建物も29棟で住居が666戸と店舗が6店の計672戸で、2006年の建て替えまで44年の歴史がありました。1962年に自治会が結成され現在に至り51周年を迎えました。建て替えにより2006年2月から入居が始まり、団地名はみずみずしい緑豊かな樹木と花でいっぱいの街並みということで「みずき街」と名付けられ、周辺には「はなみずき」の木々も植樹され名実ともに「百合ヶ丘みずき街」となりました。

現在は9棟349戸約1,000人と建て替え以前の約半数となりましたが交通の便もよく、百合ヶ丘駅には徒歩で約11分、新百合ケ丘駅までは徒歩で約15分と近く、大型スーパー、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、商店があり、各学校も通学に便利でなだらかな丘陵にあり、上階のベランダから富士山も望めて見晴らしの良い環境です。みずき街団地は震災に強い新耐震基準に沿った建物で、また全戸に床暖房や浴室の乾燥暖房設備も完備していて、住民の方々も安心して末永く住みたいと言われています。

震災に備えて広場に設置したかまどベンチの使用訓練

みずき街自治会の組織は会長、副会長各1名、事務局2名、会計（事務局兼務）広報1名、防災1名、厚生1名、民生委員1名、会計監査2名、また若い方が3名自主的に参加して積極的に斬新な意見や提案を出してくれています。春夏秋冬の年4回発行の広報紙「みずき」は自治会の行事や近辺の話題、情報等内容も充実し皆さんが楽しみにしています。自治会の年間3大行事として第一に8月の「みずき街納涼大会」、第二に「防災防火訓練」、第三は12月に「餅つき大会」を行っています。納涼大会は花火、バザー、焼き鳥、ポップコーン、ヨーヨー釣り、喫茶室「みずき庵」等でご家族や近辺にお住まいの方も参加して大いに盛り上がり、防災防火訓練では消火器の使い方や、AEDは人形を使って実地訓練等、麻生消防署百合丘出張所の署員の皆様の協力で毎年実施しています。また団地内の広場に設置した「かまどベンチ」は災害時の炊き出しや湯沸しが出来るよう、テント3張りと共に準備しています。みずき街自治会では2年前から重要な取り組みとして高齢者の方の見守り支え合い活動に力を入れています。現在高齢者の方が住民の約30％強で、部屋から少しでも外に出て顔を見せていただこうという試みで、毎月第1水曜日に行う「みずき会」を立ち上げ軽い昼食やお茶や菓子で話に花を咲かせて健康講話、ストレッチ、折り紙などで親睦をはかっています。現在は軌道に乗り、参加者も増えてきています。また「みずき会」の活動の一環として団地内4か所の花壇の管理、整備を「お花の会」として立ち上げ、花の好きな方々が四季の花を植えて目を楽しませてくれています。そして近くには市から委託された公園が3か所あり、毎月第3土曜日を公園清掃日と決めて夏冬の暑さ寒さにかかわらず、春には花々に囲まれながら有志が自主的に行っています。そして公園担当の委員が主となり、近隣の皆さんにも楽しく使っていただくよう、日頃から整備しています。

みずき会の活動のインストラクター指導のストレッチ体操

今後はさらに近隣の町会・自治会との連携をはかり親睦を深めたいと思っています。

五力田町内会

会長　鈴木　正視

五力田は江戸時代初期「村切り」とよばれる政策によって村境が定められた時、5戸の家が力を合わせ、田畑を耕作していた地域が分離独立し『伍力田』と名付けられた事が由来とされています。その後、田畑を生産する人家も増え18戸となり、農業の生産組合として存続しています。資料として、昭和7年から昭和50年までの五力田農事改良組合「経費出納簿組合財産台帳」があります。その中に「公民館家賃」1年分、558円96銭とあり、当時から借りてはいたものの五力田会館は存在していたことがわかります。

日陰シートの下で踊ります

当地域は緑が多く、小田急多摩線五月台駅周辺から栗平駅方面へ細長く、稲城市側に隣接し、五力田丁目なし全部、五力田3丁目全部、五力田2丁目（一部）、白鳥4丁目全部、白鳥3丁目（一部）が町内会の区域です。会員数は1,016世帯、古くからの住民と最近移り住んできた人達から町会が構成されています。

さて町会は親睦団体であると思いますが、親睦を深めるために、いろいろな活動をしています。

「盆踊り大会」念仏踊りから始まったといわれる盆踊り、人口が少ない時も五力田は盆踊り大会を行ってきました。その場所がなくなり、5年程お休みをしていましたが、2年前、保育園の園庭をお借りすることができ、実行委員を回覧で募集、盆踊り実行委員会を立ち上げました。その計画をしている時、東日本地域に巨大地震と大津波があり、「チャリティーイベント&盆踊り」に変更、前半はチャリティーコンサート（3グループ出演）、模擬店、募金活動、後半は防災グッズが当たる抽選会、そして盆踊り、この時の募金と町内会にお願いし集まった募金、計50万7,820円を義援金として寄付。2回目も同じように行い、今回は「あしなが育英会東日本大震災・津波遺児支援資金」に、少ない金額ですが寄付いたしました。

「ちょっきんず」の3姉妹とビッグバンド「ミツトヨM-Wind」のみなさんによる「上を向いて歩こう」義援金の募金

このようなイベントを行うのは、忙しくなり大変なのですが、新しく住まわれた方と昔から住んでいる方との交流の場でもあり、とくに踊りは練習の時もあり交流を深めるよい機会でもあります。そしてもうひとつ交流できるのは年3回行っている美化清掃運動です。毎回130名前後の参加者があり、新しく参加した方の紹介をしたりしています。「環境部」が中心となり行っています。

安全で安心して住み続けられる町でいられるよう、各部会を設けています。「地域防犯部」（防犯パトロール隊）、「防犯部」、「防災消防部」、「交通部」、「広報部」、「文化部」、「福祉部」、「子供会」、「五力田さつき台会」（老人会）、「総務部」、「役員会」と「消防団昭和班」等の川崎市、麻生区、社会福祉協議会への推薦委員が五力田会館等を利用し活動しています。

麻生区町会連合会への新規加入のお知らせ

平成24年10月4日付で次の団体が当連合会に加入しました。

名　称　虹ヶ丘3丁目町内会
会　長　近藤　善紀
世帯数　31

※平成25年2月1日現在、105の町会・自治会で組織されています。